

第一回 静岡臨床研究会

ケースカンファレンスのご案内



近年、さまざまなセラピーの技法が注目されていますが、どのような技法を選択するにせよ、「ケースと関係をしっかりと築き、寄り添っていくこと」がベースにあるべきと考えられます。

このような趣旨のもと、ケースカンファレンスを中心とした研究会をはじめることになりました。

医療、教育、福祉、産業、司法など、どの領域においても、多職種が協働する中で、全体的な視点でアセスメントができるよう、一緒に検討していきたいと考えています。

第一回は世話人の一人でもある岸本より、事例を提供させていただきます。やる気のある、さまざまな領域、職種の方のご参加をお待ちしています。

日 時：令和元年 **8** 月 **21** 日 (水)

事例提供 **岸本寛史**
(静岡県立総合病院)

18:30～20:40

司 会：松本晃明 (静岡市こころの健康センター)
：笠井 仁 (静岡大学)

会 場：静岡県男女共同参画センターあざれあ
第3会議室 (定員 80名)

対 象：守秘義務のある専門職 (医師、心理職、精神保健福祉士、看護師、教員など)

参加費：**500**円 (当日会場で徴収)

*終了後に会場近くのお店で懇親会を予定しています。

お店を手配する関係上、懇親会についても参加の有無を教えてください (料金は別になります)。

1991年京都大学医学部卒業。静岡県立総合病院などを経て、2004年富山大学保健管理センター助教授。2007年京都大学医学部附属病院准教授。2012年高槻赤十字病院緩和ケア診療科部長。2018年より静岡県立総合病院緩和医療科部長。山中康裕氏にユング心理学を学び、緩和ケアを専門とする。

著書・共編著に『癌と心理療法』『緩和のこころ 癌患者への心理的援助のために』『緩和ケアという物語 正しい説明という暴力』『迷走する緩和ケア』『コッホの『バウムテスト「第三版」』を読む』『臨床バウム 治療的媒体としてのバウムテスト』『バウムテスト入門 臨床に活かす「木の絵」の読み方』『ニューロサイコアナリシスへの招待』など多数。

申し込み

以下の研究会メールアドレスに、件名「静岡臨床研究会参加申し込み」として、本文に、①氏名 ②所属 ③職種 ④懇親会の参加の有無を記載してメールを送信ください。 申し込み締切：**8月14日(水)**

◀ 静岡臨床研究会 ▶

お問い合わせ

E-mail：shizuoka.rinsho@gmail.com